

支援プログラム（児童支援事業所ぷらみんぽーと 児童発達支援重症心身障害以外）

作成日 2025年 3月 10日

| | | | |
|-------------------------------|--|----------------|---|
| 東京リハビリテーションセンター世田谷開設理念 | 「すべては患者さん・利用者さんのために」を院是・団是とする南東北グループは、地域の皆様とともに、“住み慣れた地域で、生涯いきいきと、安心して暮らせる地域リハビリテーション・ケア体制”の構築をめざします。 | | |
| 支援方針 | 発達・発育に遅れのあるお子さんやその保護者を対象に、心身の健やかな成長を図り、日常生活に必要な社会性を育てていくための療育プログラムの提供や相談援助を行う。 | | |
| 営業日 | 平日のみ（年末年始12/31～1/3は休業） | | |
| 営業時間 （サービス提供時間） | 8：30～17：30 （9：15～16：45） | 送迎実施の有無 | なし |
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の子育てに関する悩みや困りごとに対し、相談援助を行っています。 ・ご家族がお子さんの発達や特性についての理解を深めたり、お子さんに合わせた関わり方を学ぶことができるよう情報提供を行っています。 ・グループ療育では、グループワーク等を通して保護者同士の交流の機会を提供しています。 | | |
| 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族に対して、就園や就学に関する情報提供や相談援助を行っています。 ・お子さんに対して、就園や就学を見据えて必要と思われる支援を提供しています。 ・併行利用先である保育園・幼稚園等とお子さんの状態や支援内容等について情報共有をしたり、対応方法等の擦り合わせを行う等必要に応じて連携を図っています。 ・学校にお子さんの様子や支援内容を引き継ぐとともに、就学後必要と思われる支援等について共有するための「就学支援シート」を作成しています。 | | |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・世田谷区保健センター乳幼児育成相談係や世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」等の関係機関と密に連携しています。 ・世田谷区内の保育園・幼稚園・新BOPを訪問し、職員の方に対して、配慮が必要なお子さんへの対応方法等について助言を行っています。 ・世田谷区内の地域型保育事業所の職員の方を対象に、配慮が必要な低年齢児への関わり方について研修を実施しています。 | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 外部研修：事業所に隣接している世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修を中心に外部研修を受講しています。 内部研修：高齢者施設・障害者支援（成人）・病院と複合型の施設の強みを活かした15種類の委員会が横断的な研修を行っています。 |
| 主な行事等 | 日々の活動の中で季節に合わせた制作を行っています。 その他、“先輩お父さん・お母さんの話を聞く会”、“就学相談説明会”、センターの行事として“うめとぴあフェスタ” | | |

支援プログラム（児童支援事業所ぷらみんぼーと 児童発達支援重症心身障害以外）

支援内容

健康・生活

健康状態を把握し、健康増進や基本的な生活習慣を獲得できるよう介入していきます。食事の様子を確認し、必要なサービスの情報提供等サポートします。
 手の基本的操作性を向上させ、衣服の着脱や道具操作に繋がる動きを獲得できるよう介入します。
 必要な物のみを提示するなど視覚・聴覚的に気になる物を取り除くといった環境調整を行い、集中して取り組める環境を提供します。
 グループ療育では、生活に必要な基本的動作・生活習慣を経験・獲得するために、支度やトイレの時間を設けます。
 個々に合わせた構造化（スケジュール提示、活動内容に合わせた部屋の移動、空間を仕切る等）を行い、お子さんが過ごす環境を整えます。

運動・感覚

姿勢・運動の基本的技能の向上を図ります。身体能力の向上・心身機能に対応した遊びを提案します。
 感覚特性への対応について提案します。
 ふれあい遊びや感覚遊びなど、外から受け取る刺激により、遊びの幅の広がりや人との関わりに繋げていきます。
 遊具遊びを通して、手足で身体を支える経験を促し、指先の巧緻性に繋がったり、手の操作性の向上を促します。
 感覚面での様々な課題に対して活用できる遊びや運動を提案・提供します。
 遊びや課題、机上での取り組みを通して、粗大から微細までの動きを経験し、姿勢の安定や身体の使い方が身に付くよう支援します。
 一定時間着席して課題に取り組むことができるように、お子さんの興味に合わせた課題を提供します。

認知・行動

認知特性や偏りについての理解と対応方法を提案します。行動障害への予防及び対応方法を提案します。
 机上課題や遊具遊びを通じて、目や手を使って自分で試行錯誤する経験ができるよう、課題を提供します。
 安全かつわかりやすい環境を整え、個々の様子、発達段階に合わせた課題や遊びを設定し、様々な概念の形成を図ります。
 大小・色・数等の概念の形成、見本を模倣する力や見比べる力を育てます。空間認知や形を弁別する力を育てます。
 遊びや机上課題を通して、生活に必要な概念の獲得や、単語を構成する音の把握を促します。
 集団の中で個別指示や声掛け等の手がかりを使用し、お子さんが場に合った行動を自らとることができるように促していきます。

言語・コミュニケーション

コミュニケーションの基礎的能力の向上を図ります。人との相互作用によるコミュニケーション能力を獲得できるよう介入します。
 身振り、サインによる表現や言語での表出を促し、個々に合ったコミュニケーション手段の獲得を支援します。
 大人が積極的にサインや単語を用い、子どもに模倣するよう促していきます。
 絵本、パネルシアター等を通して、言葉に触れる機会を増やし、自分の感情や考えを相手に伝える経験ができるようにしていきます。
 語彙を増やし、やりとりを広げる支援をしていきます。
 遊びや大人の模倣を通して、発話内容の充実や正しい構音の獲得及び発話明瞭度の向上を促します。

人間関係・社会性

アタッチメントの形成を促します。
 対人意識を育み、目の前に示される課題に応じる姿勢の形成を促します。
 一定時間椅子に座って取り組む経験や、一つ一つの課題の間に待つ姿勢を取る経験ができるようにします。
 課題に取り組み、最後までやり遂げる経験を通して自信を深められるように支援します。
 自分の気持ちを言葉で表現したり、他者の気持ちを知るための支援をしていきます。困った時に他者へ援助を要請できるように促します。
 集団参加への支援を行います。大人と一緒に楽しむ中で、安心して自分で挑戦できるような環境を提供します。
 遊びを通して人と関わることを楽しみながら、道具や場所の共有、順番待ち、物の貸し借り等を経験し、対人関係や社会性の成長を促します。